

アジア政経学会 2006年度第5回理事会 議事録

1. 日時 2006年10月28日(土) 12:30~14:00
2. 会場 慶應義塾大学日吉キャンパス
3. 理事総数 24名
4. 出席者 12名(家近・国分・佐藤・沢田・末廣・高橋・高原・武田・田島・玉田・田村・山本)
(+監事:石井)(+特任理事:丸川)
(+全国大会実行委員長:安田)
5. 委任状提出者 7名
6. 出席者合計 19名
7. 議長 国分理事長
8. 議事

(ア) 定刻に、国分理事長が議長席に着き開会。まず、総務担当・高橋理事より本日の出席者は19名(委任状による表決者を含む)にて、定足数12名以上を満たしているため、本理事会は有効に成立している旨の報告があった。引き続き、本理事会の議事録署名人として、高橋伸夫氏、山本信人氏の2名を指名し、両氏はこれを受諾した。その後直ちに議案の審議に入った。

(イ) 前回(2005年9月2日)理事会議事録の確認を行った。

(ウ) 今大会に関する報告

①概況

今大会実行委員長の安田淳会員より、大会の開催状況報告および、準備過程における反省点等が、感謝の言葉とともに述べられた。

②国際シンポジウム

海外からのパネリスト応接で不在の竹中特任理事に代わり、国分理事長より国際シンポジウムの詳細について報告が行われた。

議案1 来年度全国大会、東日本大会、西日本大会について

来年度の東日本大会は、2007年5月26日に学習院大学にて、西日本大会は、2007年6月2・3日に福岡大学にて、それぞれ開催されることが決定した。

議案2 『アジア研究』の編集状況について

武田理事(編集担当)より、以下3点の報告が行われた。

- (1) 『アジア研究』第52巻第4号の印刷および発送が、10月11日に完了したとの報

告が行われた。

- (2) 『アジア研究』第53巻第1号の掲載予定内容について、報告が行われた。
- (3) 『アジア研究』への投稿論文、およびその査読審査状況（対象期間：2006.1.1～2006.9.30）についての報告・説明が行われた。

議案3 ニュースレター・ホームページの改定について

山本理事（広報担当）より、以下4点の報告が行われた。

- (1) 紀伊国屋書店からの送付により、学会ホームページに関するデータをCD-ROMの形で入手した、との報告が行われた。二部のうち、一部を事務局にて保管する。
- (2) ニュースレター第26号において、新入会員記載漏れが発生したため、第27号（次号）にて、お詫びの上訂正記事を掲載予定であるとの報告が行われた。
- (3) ニュースレター第27号は、2007年1月刊行予定である。
- (4) お茶の水学術事業会宛てに、学会ホームページへの各種掲載依頼が増えてきたが、それに伴い、情報量・内容に多寡の差が生じるようになった。そこで、「アジア政経学会HPへの掲載」を作成し、ここに記入の上申請をしてもらうようにしてはどうか、との提案が行われ、承認された。

議案4 本年度優秀論文賞について

石井監事（優秀論文賞選考委員長）より、本年度の優秀論文に、小嶋華津子氏の「中国の市場経済化と『工会』改革をめぐる議論」（掲載誌『アジア研究』第52巻第1号、2006年1月）が決定したとの報告および、選考理由の説明が行われた。

議案5 入・退会者について

以下の新入会希望者10名、退会者6名の承認が行われた。

<新入会> 渡辺周央、楊子震、太田誠、飯村友紀、小川忠、欒玉璽、
田中勝也、孝忠延夫、兪嶸、小高泰

<退会> 長山浩章、三木敏夫、丹藤佳紀、速水佑次郎、山本展男、長澤節

その他の議案

- (1) 国分理事長より、『現代アジア研究』の編集状況についての報告・説明が行われた。
- (2) 高橋理事（総務担当）より、当学会においては初の試みとなる、今大会における託児サービスの提供についての報告と説明があり、それをもとに討議が行われ、今後も大会時に同サービスの提供を継続するとの方針を確認した。
- (3) 次回理事会は、2006年12月2日（土）15:00より、霞山会館にて開催予定である。

以 上

国分議長が 14 時 00 分、閉会を宣言して審議を終了した。

以上の決議を明確にするために、議長及び議事録署名人は次の通り署名、押印する。

平成 18 年 10 月 28 日

財団法人アジア政経学会

議長

国分良成



議事録署名人

高橋伸夫



議事録署名人

山本信人

